

VP-16+CDDP 療法(EP 療法) (short hydration)

4 週毎 コース予定

疾患名 神経内分泌細胞癌(NEC)

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

主治医 _____ 指導医 _____ HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day1	day2	day3
エトポシド	100 mg/m ²	↓	↓	↓
シスプラチン	80 mg/m ²	↓		

【注意】*1 日の尿量が 3000 mL 以上になるように調整すること

*エトポシドは溶解後結晶が析出するため用時 100 mg を輸液 250 mL 以上で溶解
(濃度 0.4 mg/mL 以下の濃度になるように)し 30 分以上かけて点滴静注する。
また DEHP フリー点滴セット(フィルターなし)を使用する。

*シスプラチンは遮光のこと

*治療前日から翌々日まで通常の飲水に加えて、経口補水液 500 mL を 1 日 2 本飲水すること

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

Day 1 抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル (125 mg) 1Cap を内服

- ① 生食 500 mL で血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq
点滴静注 60 分(500mL/時間)
- ③ 生食 100 mL + グラニセトロン注 3mg 1 筒 + デキサメタゾン注 9.9mg (3 mL)
点滴静注 30 分(200 mL/時間)
- ④ エトポシド + 5%ブドウ糖液 500 mL 点滴静注 90 分(360 mL/時間)
- ⑤ 20%マンニトール 200 mL 点滴静注 30 分(400 mL/時間)

VP-16+CDDP 療法(short hydration)

⑥ シスプラチン + 生食 300 mL 点滴静注 120 分(240 mL/時間)

*生食 200 mL をバッグから前もって抜いておく

⑦ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq

点滴静注 60 分(500 mL/時間)

◎ 終了後メインの生食でルート内フラッシュ

Day 2, 3

① 生食 500 mL で血管確保

維持(20 mL/時間)

② デキサメタゾン注 6.6 mg (2 mL) + 生食 20 mL

側管静注

③ エトポシド + 5%ブドウ糖液 500 mL

点滴静注 90 分(360 mL/時間)

◎ 終了後メインの生食でルート内フラッシュ

Day 2, 3

アプレピタントカプセル (80 mg) 1 Cap 1 ×朝 内服

Day 4

デキサメタゾン注 6.6 mg (2 mL) + 生食 20 mL 側管静注

	コース				コース			
	Day1	Day2	Day3	Day4	Day1	Day2	Day3	Day4
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓		↓	↓	↓	
シスプラチン 開始時刻	↓				↓			
確認								

VP-16+CDDP 療法(short hydration)

	コース				コース			
	Day1	Day2	Day3	Day4	Day1	Day2	Day3	Day4
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓		↓	↓	↓	
シスプラチン 開始時刻	↓				↓			
確認								

	コース				コース			
	Day1	Day2	Day3	Day4	Day1	Day2	Day3	Day4
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓		↓	↓	↓	
シスプラチン 開始時刻	↓				↓			
確認								

	コース				コース			
	Day1	Day2	Day3	Day4	Day1	Day2	Day3	Day4
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓		↓	↓	↓	
シスプラチン 開始時刻	↓				↓			
確認								

	コース				コース			
	Day1	Day2	Day3	Day4	Day1	Day2	Day3	Day4
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓		↓	↓	↓	
シスプラチン 開始時刻	↓				↓			
確認								